

大会名：第15回 NACカップ U-10
日程：平成27年7月4日（土）～5日（日）
会場：小野町町営多目的グラウンド
参加：E4クラス 10名
帯同：渡邊コーチ

二日目のみ3位トーナメント

対戦相手：

VS 富田SSS 5：2 ○

VS 守山SSS 7：0 ○

結果：9位（12チーム中）

第15回NACカップU10の二日目に帯同しましたので、報告します。

本来ですと、大会は二日間とおして同じコーチが帯同することが望ましいのですが、今回は、T6クラスが他大会と日程が重なったことなどから、NACカップU-10の二日目を渡邊が帯同することとなりました。

チーム Watanabe お馴染みの作戦ボード用選手名マグネット。2015年初公式戦ということもあり、今まで以上に一つ一つ丹精を込めて作りあげました。そして、みなさんお気づきでしたか。今回のマグネットは2015年バージョンだったことを。

初日の結果は、夜更けに設楽コーチと小松コーチから電話報告があり、ある程度初日の雰囲気を確認することができました。

まずは、メンタル。心を調整する。負け癖がついてしまった選手たちの心を立て直すこと。そのために選手を全員集め、天栄SSSさん主催の練習試合で連勝していたときのプレーをイメージさせ、大会に望む心構えやチーム Watanabe の戦い方などを伝えました。そのうえで、二日目この3位トーナメントをどう戦うのか。その答えを選手にだしてもらいました。選手全員の答えは、3位トーナメントでの優勝でした。チーム Watanabe が大切にしているワードに”自分で考え、実践（行動）すること”があります。基本的な考え方は、「いつ」「だれが」「なにを」「どのように」「なんのために」です。次に選手には、どうすれば3位トーナメントで優勝できるのか考えてもらいました。結果、色々な意見が出ました。すごく良い時間を過ごせていました。最終的にE4クラスの選手に私が伝えたことは3つです。「相手チームよりもシュートを多く打つ」「相手チームをペナルティーエリアへ侵入させない」「常に仲間を信じ、行動をともにすること」です。最低限このことをやり続けることが出来れば負けることは無いと伝えました。

試合の方は、富田SSSさんとの初戦では、圧倒的に攻めていたのですが、なかなか得点することが出来ず、攻め疲れにより一瞬動きが悪くなったところを、ロングシュートを打たれ、まさかの失点。しかし、この失点が眠っていた選手たちの闘争本能に火がついたようでした。終わってみれば、5得点を奪い見事勝利。最後まで諦めず、一人ひ

とりが勝つためにいろいろ考えてプレーしていました。そして、守山SSSさんとの決勝戦。守山SSSさんは初戦をPKで勝ち上がってきたことで、チームに勢いがありましたが、初戦同様に最後まで、自分たちで考えプレーし終わってみれば7得点を奪い、見事優勝することが出来ました。2試合を通して感じたことは、どの選手もドリブルは良かったです。しかし、ボールを蹴る技術については... ですね。引き続き、パス練習をする必要があると感じました。もちろん、選手の間も自主練習してくださいよ。

今大会をとおして、E4クラスの選手は、得点する喜び、失点する悔しさ、勝つ喜び、負ける悔しさなどなど、普段の練習ではすることの出来ない貴重な体験をすることが出来ました。ここからは、私個人の考えですが、小学生年代に成功する体験と失敗する体験を繰り返すことで、問題解決能力を育成することが出来ると思います。この能力は、口で伝えても子供たちには伝わらないと思います。実際に体験するのが一番です。そして、私たち大人がサポートする。長いスパンで選手たちの成長を考える必要があります。私たち大人は、あせらず、ゆっくり選手たちの成長を暖かく、時に厳しく見守りサポートしたいですね。

最後に、大会関係者の皆様、今年もご招待いただきありがとうございました。また、E4クラスご父兄の皆様、応援ありがとうございました。引き続き選手同様 Watanabe の応援もよろしくお願いします。

～ 戦術マグネット作成するもプレゼン資料は今だ未完成。リアルにヤバイ。

本当の敵は自分自身。そのとおりだなあ。 迷将界のカリスマより ～
コーチ：渡邊



